

6月21日「世界ALSデー」に向け新たな挑戦を開始

ALS啓発フェス

「MOVE FES.2018 Supported by Hard Rock Experience」開催

武藤将胤氏・初の著書『KEEP MOVING 限界を作らない生き方』
6/6(水)より発売開始Def Techや落合陽一氏らも応援・MUSIC FILMを制作！

一般社団法人WITH ALS代表理事を務め、自身もALS患者として障がい者と健常者に垣根のない未来を実現するために活動を続ける武藤将胤(むとうまさたね)氏は、6月21日の「世界ALSデー」に向けて「KEEP MOVING」というメッセージを掲げ、さまざまな活動を行ってまいります。

活動に先駆けて、6月6日(水)に武藤氏初の著書となる『KEEP MOVING 限界を作らない生き方』を誠文堂新光社より刊行いたします。6月19日(火)には、武藤氏が総合プロデューサーを務め今年3年目の開催となる音楽フェス「MOVE FES. 2018 Supported by Hard Rock Experience」を豊洲PITにて開催致します。このフェスでは、武藤氏自身も「EYE VDJ」として出演し、眼の動きのみでDJ・VJをプレイします。また、6月20日(水)には、20年後の未来をテーマにしたMUSIC FILMを発表予定です。

武藤氏はWITH ALSを立ち上げて以降、眼の動きだけで様々なIoTデバイスをコントロールできるアプリ「JINS MEME BRIDGE」の開発、パーソナルモビリティ「WHILL」のカーシェアサービス、BORDERLESS WEARブランド「01」のプロデュースなどを通じてALSの啓発や治療・支援制度の向上のための活動に取り組んできました。また、J-WAVEラジオパーソナリティや子どもたちへの講演を行い、すべての人たちに「限界を作らない生き方」についてメッセージを発信し続けています。

武藤氏がALSの宣告を受けてから4年目となる今年、新たに書籍出版やミュージックフィルムの制作、そして3度目の開催となる「MOVE FES.2018 Supported by Hard Rock Experience」に対し、多くの著名人からも応援のメッセージが集まっています。書籍の帯文には、メディアアーティストで筑波大学学長補佐の落合陽一さんにもコメントを寄せていただきました。

各活動の詳細は次頁以降をご確認ください。

公式サイトおよび各種SNS

- WITH ALS 公式HP : <http://withals.com/>
- WITH ALS 公式Facebook : <https://www.facebook.com/project.withals/>
- WITH ALS Instagram : https://www.instagram.com/withals_masa/



▼武藤さんコメント

アイスバケツチャレンジから約4年が経ち、多額の寄付金によって、ALS治療薬の研究にも希望の光が少しずつ見えてきました。ただ残念ながら、アイスバケツチャレンジの運動自体は一過性で終わってしまいました。現在、未だにこの病気の治療方法は確立されておらず、ALSとの闘いは決して終わっていません。だから僕はALSを治る病気にするために、今自分にできる行動を続けていきたいと思っています。例えばそれは、寄付をすること、新たな治療方法やテクノロジーを探求すること、言葉にすること。皆さんにも、今自分にできることを考え、行動し続けてほしいのです。

1人1人の「KEEP MOVING」の輪を広げていくことによって、20年後の未来、きっとALSは治る病気になっていると僕たちは信じています。

ALSの進行によって、声を徐々に発することが出来なくなった今だからこそ、僕はさまざまな活動を通じて、国籍、文化、障害、マイノリティ、様々な垣根を超えて繋がり、伝えたいです。

「KEEP MOVING」と。その輪が広がることで、必ずALSが治る、明るい未来は創れると信じています。

※本プレスリリースの素材は下記よりダウンロードいただけます。

【URL】 <http://prt.nu/0/withals> 【Pass】 0621

---本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先---

「WITH ALS」PR事務局 (株式会社Material内)

TEL:03-5459-5490/FAX:03-5459-5491/MAIL: 3g@materialpr.jp

[担当] 柴田 (080 9880 1735)・安藤 (070 4573 2228)

▼プロフィール

武藤将胤 (むとう・まさたね)

1986年ロサンゼルス生まれ、東京育ち。難病ALS患者。一般社団法人WITH ALS代表理事、コミュニケーションクリエイター、EYE VDJ。また、(株)REBORNにて、広告コミュニケーション領域における、クリエイティブディレクターを兼務。過去には広告会社・博報堂にて、様々な大手クライアントのプラン立案に従事。

2013年26歳の時にALSを発症し、2014年27歳の時にALSと宣告を受ける。現在は世界中にALSの認知・理解を高めるため「WITH ALS」を立ち上げテクノロジー×コミュニケーションの力を駆使した啓発活動を行う。

今回の「KEEP MOVING 限界を作らない生き方」が初の著書となる。

▼「MOVE FES. 2018 Supported by Hard Rock Experience」について

<企画背景・メッセージ>

MOVE FES.は難病ALS(筋萎縮性側索硬化症)の啓発活動の一環で立ち上がりました。

MOVE FES.そしてALS患者である武藤を通じて私たちが伝えたい事は、

全ての人の人生の時間には、限りがあります。だからこそ今この一瞬、一瞬を大切に生きる。強いVISIONがあれば、きっとどんな人生だって無限に切り開ける。きっと人生に限界なんてない。

このメッセージを届け、ALSの啓発 そして一人、一人の人生の限界を切り開いていく音楽フェスです。

武藤氏は、「EYE VDJ」として出演します。

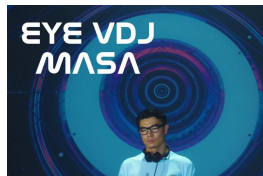
出演者



Def Tech



NOBU



EYE VDJ MASA

AND MORE.

その他の情報はこちらに
随時更新致します。

<http://withals.com/>

EYE VDJについて

EYE VDJとは、2015年に初開催した「MOVE FES.」にて武藤氏が世界で初めて実現したDJ・VJのプレイ方法。ALS患者の筋力が衰えても、比較的最後まで動かすことができる「眼球運動」を利用し、レンズ越しに目線や瞬きによってDJ・VJプレイを行います。使用している「JINS MEME」が持つ眼電位技術は、視線の移動やまばたきの情報をリアルタイムで取得し、独自のアルゴリズムによりデバイスを動かすための信号に変換することができます。

<開催概要>

- ・名称:MOVE FES.2018 Supported by Hard Rock Experience
- ・開催日時:2018年6月19日(火) 18:00(開場)/19:00(開演)~22:00(閉演)
- ・会場:豊洲PIT (東京都江東区豊洲6丁目1-23)
- ・販売チケット価格:前売り券¥4,000/当日券¥4,500
- ・主催:一般社団法人WITH ALS
- ・共催:株式会社REBORN
- ・Fundraising partner: 一般社団法人せりか基金
- ・協賛: Hard Rock Experience
- ・後援: 株式会社J-WAVE 一般社団法人チームスマイル
- ・お問い合わせ:move.fes@gmail.com

<チケット購入方法>

- ・Peatix: <https://movefes2018.peatix.com/>
- ・CAMPFIRE: <https://camp-fire.jp/projects/view/69241>
- ・チケットぴあ、ローソンチケット、イープラスでも販売予定です。
- ・当日券:会場にて販売いたします。

Hard Rock Experienceについて

75カ国にて200以上の施設を展開するハードロック・インターナショナルの日本法人、ハードロック・ジャパン (本社:東京都港区、CEO:エドワード・トレーシー) はこれまでの経験と実績を活かし、2017年11月より

「ハードロック・エクスペリエンス」という新しい日本の構想を発表しました。ハードロックならではの“音楽をDNAに”、子どもからシニアまで幅広い世代が楽しめる統合型リゾートの開発を目指すと共に、日本の現代の文化を尊重し、同時にハードロックが将来的に日本に提供できる音楽、スポーツ、ホスピタリティ、エンターテインメントへのビジョンを示すものとなります。これまでのホスピタリティ事業の運営を通じて培ってきた経験を活かし、日本の皆様にカフェ、ホテルやカジノだけでなく、音楽ライブイベントからスポーツイベントまで、幅広いエンターテインメント体験の提供を行ってまいります。



---本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先---

「WITH ALS」PR事務局 (株式会社Material内)

TEL:03-5459-5490/FAX:03-5459-5491/MAIL: 3g@materialpr.jp

[担当] 柴田 (080 9880 1735) ・安藤 (070 4573 2228)

▼書籍について

書籍『KEEP MOVING 限界を作らない生き方』では、多様性やマイノリティについての話題が多い現代の中で、難病ALS患者である著者自身が、当事者目線で「多様性・マイノリティ」について語ります。また、2020年の東京オリンピックを見据えてのビジネスモデルの開発についての活動をはじめ、多くのビジネスモデルについても触れています。

世の中を明るく変えるアイデアをカタチに。表現する自由、行動する自由…。ハンディキャップを抱えた人たちが、自分らしく自分の人生を描いていけるような、明るい未来を作りたい。本書は27歳という若さでALSの宣告を受け、難病の未来を変えるべく動き続ける武藤将胤の挑戦を描きます。



<書籍情報>

書名：KEEP MOVING 限界を作らない生き方
27歳で難病ALSになった僕が挑戦し続ける理由
著者：武藤将胤
仕様：46判、238ページ
定価：本体 1,500円+税
配本日：2018年6月6日(水)
ISBN：978-4-416-61839-4
発行：誠文堂新光社
販売：全国書店、ネット書店にて



▼MUSIC FILMについて

武藤氏は、世界ALSデーに向け、世界初「眼で奏でるMUSIC FILM」制作に挑戦します。シカゴ発の制作チーム「Cutters Studios」とタッグを組んで、“20年後の未来の東京”を舞台に制作。ALSが治る病気になっている未来を描き、「KEEP MOVING」を訴えます。

幼少期から音楽や映画に心動かされ、言語や国境を超えたコミュニケーションに大きな影響を受けてきた武藤氏だからこそ、MUSIC FILMを通じて世界中にメッセージを発信したいと考えています。

音楽制作は、趣旨に賛同し、エンディングテーマは、「Def Tech」が、本編を、女性プロデューサーユニットの「DFT」が手掛けます。

また、ALSの治療方法を見つけるための研究開発費を集める「せりか基金」と共に、皆様にもご参加いただき、現実でもALSを治療可能な病気にする挑戦をしていきます。

CUTTERS STUDIOSについて

Cutters Studiosは1980年にシカゴから始まり、現在ロサンゼルス、デトロイト、東京、ニューヨークの順番にスタジオを拡大しているクリエイティブ・エージェンシーです。テレビコマーシャル、ミュージックビデオ、映画などの業界最高級の作品を手掛けています。



せりか基金について

せりか基金とは、漫画「宇宙兄弟」に登場する女性「せりか」の名前が由来で作られた基金です。せりかは、亡くなった父の病気・ALSと闘うため医者となった女性。物語では、無重力空間の中で実験を行うために宇宙飛行士となり、諦めず闘い続け、宇宙での実験でALSの治療薬発見に成功させました。せりか基金は、より多くの人と理解が集まることでALSを直せる病気にしていくことが目的です。



▼ALSについて

<ALS・筋萎縮性側索硬化症とは>

2018年現在、有効な治療法が確立されていない指定難病。意識や五感とは正常のまま身体が動かなくなり、やがて呼吸障害を引き起こす。延命のためには、人口呼吸器が必要。平均余命は、3～5年。世界で約35万人、日本には約1万人の患者がいる。

---本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先---

「WITH ALS」PR事務局（株式会社Material内）

TEL:03-5459-5490/FAX:03-5459-5491/MAIL: 3g@materialpr.jp

[担当] 柴田（080 9880 1735）・安藤（070 4573 2228）

6月19日(火)、豊洲PITにて開催する「MOVE FES.2018 Supported by Hard Rock Experience」につきまして、メディア関係者の皆さまへご取材賜りたく、下記の通りご案内申し上げます。また、誠に恐縮に存じますが、ご参加の有無につきましては【2018年6月18日(月)18時】までにご返信下さいますようお願い申し上げます。

お忙しいこととは存じますが、ご都合ご検討の程何卒宜しくお願い致します。

<ご取材返信用紙>

FAX : 03-5459-5491 / Mail : 3g@materialpr.jp 宛

ご返信期限 : 2018年6月18日(月)18時

「MOVE FES. 2018 Supported by Hard Rock Experience」

日時 : 2018年6月19日(火) 18:00開場
19:00(開演)~22:00(閉演)

住所 : 東京都江東区豊洲6丁目1-23
(チームスマイル 豊洲PIT)

アクセス : 東京メトロ有楽町線 豊洲駅より徒歩12分
ゆりかもめ線新豊洲駅より徒歩3分



ご出席

ご欠席

※いずれかの「」にご記入のほど、宜しくお願いいたします。

掲載紙・誌/番組名

貴社名

部署

ご芳名

(他名)

TEL

FAX

撮影

ENG/ムービー (台)

スチール (台)

備考/ご要望

【取材留意事項】

- ※他媒体への本案内状の転送はご遠慮下さい。
- ※ご取材は、事前にご案内をお送りした媒体様に限らせて頂きます。

---本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先---

「WITH ALS」PR事務局 (株式会社Material内)

TEL:03-5459-5490/FAX:03-5459-5491/MAIL: 3g@materialpr.jp

[担当] 柴田 (080 9880 1735) ・安藤 (070 4573 2228)